



《 学校教育目標 》

- 基本目標 郷土みなかみを愛するとともに、確かな学力と豊かな人間性を身に付けた心身ともにたくましい児童の育成を図る。
- 具体目標 **よく学び 体をきたえ 心をたがやす**

祝 ユネスコスクール加盟承認

～持続可能な未来の創り手を育む、新たなステージへ～

この度、本校のこれまでの教育実践が認められ、去る11月21日付で、正式に「ユネスコスクール」として登録されましたことをご報告いたします。**※町内の全ての小中学校がユネスコスクールになりました！**

今回の登録は、本校が進めてきた「水上ハートタイム」での「ふるさと学習」や「環境教育」が、世界基準のESD（持続可能な開発のための教育）として認められた証でもあります。

水上の豊かな自然や伝統文化を学ぶことは、そのまま「地球の大切な資源を守る心」につながります。今後はユネスコスクールのネットワークを活かし、他地域の学校との交流や、より広い視野での学びを深めていく予定です。

この登録は、学校の力だけでなく、地域で子どもたちを見守り、活動を支えてくださっている保護者の皆様のご協力があってこそ実現したものです。子どもたちが「水上のよさ」に誇りをもち、自ら考え行動できる「未来の創り手」として成長できるよう、教職員一同、より一層充実した教育活動に取り組んでまいります。



スタンフォード大学日本人留学生とのオンライン交流会（6年） ～ 夢は世界へ ～

12月15日（月）、上毛新聞社様の県内初の企画で、米・スタンフォード大学の日本人留学生とのオンライン交流会を6年生の子どもたちが実施しました。この企画の趣旨は、国際感覚を養い、将来の進路、職業選択に役立ててほしいとの思いからのです。オンライン交流が始まるとあっという間で、充実した内容の濃い1時間でした。その中で緊張しながらも6年生が頑張って質問している姿がとても印象的でした。最後にオンライン交流をした4名の留学生からメッセージをいただきました。

4名の留学生からのメッセージ

- ・アメリカに行って世界を知った。皆さんの可能性を広げてほしい。
- ・アンテナを高く張り、自分自身でチャンスを探していく。
- ・自分のやりたいことを充実させるために、SNSにのめり込みすぎない。
- ・人との出会いを大切に。
- ・志をもち、チャレンジする。（勇気をもつ）

利根川の水が東京をはじめとする首都圏を支えているように、オンライン交流会と4名の留学生のメッセージが6年生の子どもたちの心を潤し、未来を育む源になるよう祈っています。 **※明日の上毛新聞にオンライン交流会の様子が掲載予定です。**



自分の命、大切な家を守るために ～住宅防火講話～

11月13日に利根沼田広域消防本部予防課指導係の生方康平さんをお招きし、住宅防火についての講話をしていただきました。乾燥するこの季節、火災から身を守るための大切なポイントを学びました。また、火災を防ぐのは、一人ひとりの意識が大切だということもお話いただきました。



雪国から南の島へ！オンラインでつながる水上と与論

国語「わたしの町のよいところ」の学習の一環として、3年生が鹿児島県の与論町立与論小学校の皆さんとオンライン交流を行いました。お互いの学校、町のよいところの紹介を通して、気候や風土の違い、それぞれの町のよさを共有しました。この交流をきっかけに、日本各地への興味・関心をさらに広げていってほしいと思います。**※本校児童は与論小から見える海をみて歓声をあげていました。また、与論小の児童は、雪とクロスカントリースキーを見て驚いていました。**



「水上ハート」タイム

〔4年社会〕

元みなかみ町教育委員さんの利根川太郎さんにお越しいただき、四ヶ村用水について事前・事後、現地学習でわかりやすく丁寧に指導いただきました。



〔キャリア朝礼＆4年総合〕

旅館だにかわ・別邸仙寿庵の代表取締役社長の久保英弘さんにお越しいただき、旅館業を通して、「笑顔」「あいさつ」の大切さについて、また、4年生の総合学習では、旅館の役割やおもてなしの心、温泉のでき方や種類等についてお話をいただきました。



〔書き初め練習〕

3学期の書き初め大会に向けて、本校の学習ボランティアである園部由香里さんに、12月に4回、書き初めの指導をしていただきました。

